

生徒たちの「働きたい！」という願いの実現に向けて 職場実習に協力してください。

特別支援学校の高等部（一部は中学部でも）では、数日～3週間程度の職場実習に取り組んでいます。多様な実習先を確保することが課題となっています。

職場実習のメリット

<企業・事業主にとってのメリット>

- ・職場の環境や業務の手順などを見直す機会になります。
- ・障がいのある人に対する従業員の理解が深まります。
- ・教育に貢献する企業として情報発信につながります。

<生徒にとってのメリット>

- ・働くことの喜びや厳しさを学びます。
- ・社会人としての心構えや働くことの意義を学びます。
- ・自分の適性や能力を理解し、進路選択につながります。

職場実習での業務例

| 実習先の業種 | 実習での作業内容 |
|-----------|-------------------------------------|
| 高齢者施設 | 居室の清掃、食事の配膳や片付け、利用者とのコミュニケーション |
| 飲食店 | 注文伺い、調理や盛りつけの補助、食器や調理器具の洗浄 |
| スーパーマーケット | 商品の補充や陳列、野菜の計量及び袋詰め、値札シール貼り |
| 病院 | データ入力、書類のシュレッダー処理、パンフレットや封筒へのスタンプ押し |
| 農業 | 収穫作業の補助、野菜の洗浄や出荷準備、段ボールの組み立て |
| 運送業 | 荷物の仕分け、運搬や配送の補助、トラックへの積み込み |
| 自動車部品工場 | 部品の組み立て、グリスアップ、品質検査、納品ラベル貼り |

職場実習のQ & A

Q. どのような生徒さんですか？

A. 障がいや特性により苦手なこともあります。適切な支援により力を発揮できます。どんな仕事にも一生懸命に粘り強く取り組む生徒が多いです。

Q. 初めての实習受け入れなので不安です。

A. プロフィールなどを持参し、実習前に生徒の様子や作業中の支援方法などについてお知らせします。実習期間中は、教員が職場を訪問して必要に応じて指導します。

Q. 実習生へ賃金を支払わなければなりませんか？

A. 賃金や報酬は必要ありません。実習に必要な経費（昼食代や交通費など）は実習生が負担します。

Q. 本人がけがをした場合の対応はどうなっていますか？

A. 通勤途中や実習中のけがには「独立行政法人日本スポーツ振興センター」の災害給付金で対応します。また、物損事故へ対応できる保険にも加入しています。

Q. 職場実習を受け入れたら必ず採用しなければならないのですか？

A. そのようなことはありません。職場実習が就労に結びつくのが理想的ですが、実習をとおして自分の能力や適性について考え、実習後の学習や進路選択に役立てることが目的です。